灯

恋人の聖地

「恋人の聖地」の認定を受けた「幸せの鐘」があり、幸せの鐘は最初の年に認められた。ハート型のレリーフの上に立って鐘を鳴らす若いカップルが絶えず、これまでに約100組の新郎、新婦が、鐘の前で結婚を宣言する人前式を行った。

高校生たちは「多くの人に使ってほしい」と1年がかりで設置作業に励んだ。ハートロックは施錠後の鍵をポストに投げ入れる仕組みで、公園が販売する錠前を用意した。16日の利用開始セレモニーでは4月挙式のカップルが最初の鍵をかけるそうだ。若い発想で誕生したモニュメントの効果で、カップルたちの愛が末永く解けないことを祈りたい。(佐々木伸次)

京丹後市弥栄町の府農業公園「丹後あじわいの郷」に、「小さな恋の散歩道」が完成した。宮津高建築科3年生が「パーゴラ(ツル棚)」をデザインも新たに再生し、峰山高産業工学科3年生が鍵をかけて恋の成就を願うフェンス「ハートロック」を新設。公園は新たな集客効果に期待を寄せる。

恋人の聖地は少子化対策と地域活性化などを目的に、プロポーズにふさわしいロマンチックなスポットをNPO法人地域活性化支援センター(静岡県)が2006年から認定。現在、全国に125カ所